

令和6年度 文化財に関する事業の実施状況について（第3四半期）

1. ～東京文化財ウィーク企画事業・としま文化の日事業～ 「文化財の中で文化財を知るVol4」の実施について

【開催概要】

重要文化財である自由学園明日館講堂を会場に、豊島区内に所在する文化財を紹介することで文化財に対する理解を深め、併せて文化財の保護について普及と啓発を図ることが目的。「東京文化財ウィーク」事業の一環として令和3年度から開催している。

今回は、区内発掘調査の成果から出土遺物（雑司が谷遺跡）の展示、区内の小中学生を対象に学校区ごとの文化財巡りを紹介するパネル展示を行うとともに、文化財に対する理解をより深めてもらうための体験ブースも設置。

期間中には、子どもたちを対象に自由学園明日館と区内の専門学校である創形美術学校との協力で、自由学園内を色鉛筆でスケッチするワークショップ「文化財の中で文化財をえがく」を開催した。

主催：豊島区教育委員会 共催：自由学園明日館

※広報としま（区広報紙）、区ホームページ、区公式X（旧Twitter）、自由学園明日館公式X（旧Twitter）、区公式Instagram、東京都ホームページ等にて周知を行った。

【開催期間】

令和6年10月29日（火）～11月10日（日）

（全12日間。期間中は休館無し） 展示時間 10：00～17：00

総来場者数：1,913名（前年度比：28名増）

【会 場】

自由学園明日館 講堂（西池袋2－31－3）

【イベント内容】

展示コーナー

(1) 出土遺物展 「み～つけた！わたしたちの町の遺跡」

区内の学校や公園などの発掘調査によって発見された、旧石器時代から近代まで、様々な時代の遺跡や出土遺物について、小・中学校の児童・生徒を対象にわかりやすく紹介する展示とした。



展示スペース外観



展示例

(2) パネル展示「豊島区内の文化財を歩きながら見てみよう」

中学校区ごとに設定した、文化財をめぐる散歩コースと文化財の注目ポイントをパネルで紹介。実際のまち歩きに活用してもらえるよう地図も配付した。



パネル展示の様子



展示パネル例

体験コーナー

(1) 「泥面子であそぼう！」

区内から出土した江戸時代の玩具である「泥面子」複製品を使って、現代風にアレンジした的当てゲームを体験できるコーナー。

「としま遺跡調査会」の普及啓発事業と連携して実施。同会より、体験者へのプレゼントに使用する「泥面子カード」や泥面子に関する説明パネルの提供を受けた。



ゲーム体験の様子

(2) ワークショップ「文化財の中で文化財をえがく」

実施日：11月3日（日）

児童・生徒が自由学園明日館館内を色鉛筆で自由にスケッチするワークショップを開催。区内の専門学校「創形美術学校」の学生の協力で、同校の学生が絵の描き方をレクチャー。



2. 「種子屋街道の歴史を今に伝える」 ～榎本家店舗兼住宅の承継と未来への種まき～ の開催について

【開催概要】

令和5年4月に豊島区の有形文化財に指定された「榎本家店舗兼住宅及び新座敷」の背景にある種子屋街道の歴史や、建物を後世に長く残していく意義などについて、区民の皆様幅広く知っていただくことを目的に、シンポジウム及び現地で文化財保存修理見学会を開催した。

来場者は会場のキャパシティを超える140名を数えた。

主 催：一般財団法人 榎本種苗歴史文化財団

共 催：大正大学・豊島区教育委員会・協同組合伝統技法研究会

後 援：豊島区

【開催日時】

日 時：令和6年11月30日（土）13：00～

【会 場】

大正大学1号館 大会議室

■第1部 シンポジウム

①榎本留吉商店とその資料について

（豊島区立郷土資料館学芸員）

②榎本家店舗兼住宅及び新座敷の文化財的価値について

（豊島区文化財保護審議会委員 神奈川大学特任教授 内田青蔵氏）

③「よみがえれ『種子屋街道』プロジェクト」について

（大正大学教授 古田尚也 氏

・豊島区文化財保護審議会委員 大正大学教授 松本洋幸氏）



■第2部 文化財保存修理事業見学会

(協同組合伝統技法研究会 角野茂勝氏)

文化財修理事業の内容を受託業者である協同組合伝統技法研究会の担当者から解説付きで紹介。実際に足場に上って、間近で文化財修理事業の様子を見学した。

